

子ども・子育て応援都市

大府の住みやすさは子育てのしやすさ。パパ・ママが安心して子育てできる環境が整っています。小・中学校では他市町村に先駆けてICT教育を導入し、成長期の子どもたちのお腹を満たすのは、自校調理で作られた出来たての給食です。大府の子どもたちがすくすく成長する理由がここにあります。

子どもステーション



「0歳児を持つ親の交流会」「プレマ交流会」「多胎児交流会」など、同世代の子を持つ親子の交流会が充実しています。子育てで困ったこと、不安なことを同じ悩みを持つ親同士で話し合うことができます。ステーションには保育士が常駐しているので相談もできます。ファミリー・サポート・センターなど、子育て世帯が困ったときの支援体制も整えています。

ICT教育



ICTの正しい使い方を学び、効果的に活用できるようにするため、全小・中学校に電子黒板やタブレットパソコンを導入し、これまで市の教員が蓄積したノウハウを活かしたICT教育を進めています。さらにICT支援員も配置して、きめ細かな授業を行っています。令和元年度には市内4中学校に、人型ロボット「Pepper」を導入し、各学校が工夫をこらした新たな取り組みを進めています。

体力向上プロジェクト

健康に生活していくための体力を小さい頃からつけていくことを目的に、就学前の園児を対象とした、運動遊びを通して子どもの体力づくりを応援する取り組みです。走ったり、跳んだり、ボールを投げたり、簡単な運動遊びに子どもたちは大はしゃぎで、児童（老人福祉）センター、保育園、小学校で実施しています。



自校・自園調理給食

すべての小・中学校、保育園に給食室を設置し、自校・自園で調理しています。調理後すぐに提供できるため、温かい料理は温かく、冷たい料理は冷たく、おいしい衛生的な給食を食べることができます。

食育も推進しており、地元食材を使ったメニューや行事に合わせたメニューなど特色ある給食を提供しています。食物アレルギー対応調理員の配置など、個々の状況に応じて細かな対応をしています。



保育園



市内には令和3年4月現在、公立保育園が12園、私立保育園等が18園あります。市では、従来から人口の増加や女性の社会進出に伴い、保育需要が増加していくことを想定し、公立保育園の定員規模拡大に加え、市独自の補助制度を整備して民間事業者の誘致を進めてきました。地域住民との交流も盛んに行われ、地域全体で子育てを応援しています。

小児医療



全国に先駆け、平成19年から中学校卒業までの医療費無料化を実施したように、大府は子育て支援の充実したまちです。妊婦健康診査や出産直後のお母さんと赤ちゃんをサポートする産婦健康診査や乳児健康診査、新生児聴覚検査の公費負担など様々な支援メニューを用意しています。市内には、県内唯一の子どものための保健医療施設「あいち小児保健医療総合センター」があり、東海三県初の「小児救命救急センター」にも指定されています。